

深・魅力通信

袋井あやぐも学園一貫教育研修会でつながる保幼小中 その2

「学び・体・心・生き方・特別支援・授業」のグループに分かれて行った分散会では、「西小学校の子どもの姿や表れ、教師の指導や掲示も含めた仕掛けを手掛かりに、学園の教科&教科外カリキュラムが目指す姿」を話し合いました。



【心づくり】

- ・思いやりのある「**温**」かい言葉が飛び交い、指導や声掛けに素直に応じる姿がすばらしいと思いました。
- ・みんなが認めてくれるから、安心して話ができるし、安心して想いを伝えられる雰囲気創られていると思いました。

【学びづくり】

- ・やらされている宿題では、テストのためでしかないと思います。子どもの成長のための宿題にしたいので、自分で考えて自分から学べるものにしていきたいです。
- ・中学校では、漢字テストの全問正解者を掲示しています。これは「学びづくり」の教科外カリキュラムにある「外発的動機付け」なので「内発的動機付け」をしていくような仕掛けを考えたいです。



【体づくり】

- ・少しできたことを、認めてほめることが楽しさに繋がると思います。
- ・クラス中に、「逃走中」をやりたいという声がありました。子どもたちで話し合っ規則をつくり、「ハンター」に番号を付けるなどの工夫をして、自分たちで遊びを考えました。自分たちの手で創り上げた遊びを通して、「体を動かすことが楽しい」と感じることができていると思います。

【生き方】

- ・自分の作ったおもちゃで大切に遊び、友だちのおもちゃを参考にしながら夢中になって試行錯誤していました。家に帰ってから、家の人に今日の活動のことを話しながら、おもちゃを実際に作ってみる。このように、普段から保護者と話をする機会をつくっておくことが大切だと思います。保護者アンケート「子どもと一緒に将来のことについて話す」ことに繋がっていくと思います。

